

作成担当所属名	企画部技術調査課
作成時期	令和7(2025)年度
保存期間	5年
保存期間満了時期	令和12(2030)年度末

国関整技調第77号  
令和8年3月6日

各事務（管理）所長・センター長 様

企画部 技術開発調整官

監理技術者育成交代モデル工事の試行について（改正）（通知）

標記について、令和6年3月22日付け国関整技調第55号「監理技術者育成交代モデル工事の試行について（一部改正）」を別紙のとおり改正したので通知する。

問合せ先

技術調査課 課長補佐（3252）、施工体制・現場管理係（3271、3263）

## 監理技術者育成交代モデル工事の試行について

### 1. 目的

豊富な工事経験がある技術者が、入札参加資格要件で求めた同種工事を施工中に、同種工事経験の無い技術者を指導・監督することで技術者の育成を図り、将来の担い手を確保するとともに、良好な品質の社会資本を持続的に社会に供給できる体制の確保を目指すモデル工事を試行する。

### 2. 対象工事

本試行は、「一般土木工事」「鋼橋上部工事」「プレストレスト・コンクリート工事」「舗装工事（アスファルト・コンクリート）」を対象とし、資格要件で求めた同種工事の実績を含む主たる工種の施工が確認（一定の区切りとみなせる時期）され、残工事を継続して実施する必要がある工事に配慮する。

### 3. 適用

令和6年4月1日以降に公告する工事に適用する。

ただし、舗装工事（アスファルト・コンクリート）は、令和8年4月1日以降に公告する工事に適用する。

### 4. 対象技術者

- ①経験の浅い1級土木施工管理技士の有資格者
- ②1級土木施工管理技士の未取得者（なお、交代時期までに本資格を取得すること）

### 5. 試行内容

#### ①主任（監理）技術者及び育成技術者の配置

監理技術者育成交代モデル工事（試行）は、主任（監理）技術者の専任期間において育成技術者を配置できるものとし、③以降においては主任（監理）技術者を育成技術者に交代可能なものとする。これ以外の交代については、「監理技術者制度運用マニュアル」（R4. 12. 23 国不建第 457 号）及び「「監理技術者制度の運用等について」の一部改正について」（R5. 3. 30 国会公契第 48 号、国官技第 389 号、国営計第 186 号）による。

#### ②主任（監理）技術者及び育成技術者の実績

当初配置した主任（監理）技術者と育成技術者共に、主任（監理）技術者として従事した期間は、主任（監理）技術者としての実績となる。

#### ③技術者の交代時期

当該工事において施工上一定の区切りとみなせる時期とし詳細時期は監督職員と協議を行う。

なお、資格要件で求めた同種工事の実績を含む主たる工種の施工が確認され、かつ、育成技術者が主任（監理）技術者に交代して適切に施工実績として評価されるよう、施工上の一定の区切りが工期の前半や後半となり過ぎないように十分留意する。（【参考資料3】参照）

#### ④技術者の交代要件

- 1) 育成技術者は、主任（監理）技術者の専任期間において育成技術者として従事しており、交代までに1級土木施工管理技士及び監理技術者資格者証並びに監理技術者講習修了証の取得が確認できるものとする。
- 2) 配置予定の育成技術者が、交代時点で配置予定の主任（監理）技術者と同等の技術力を習得するための措置として、育成期間におけるトレーニングプログラムを施工計画書に記載する。
- 3) 交代前に中間技術検査、既済部分検査又は完済部分検査（以下、中間技術検査等）を実施する。

#### ⑤落札決定後の対応

落札決定した段階で、受注者に対し監理技術者育成交代モデル工事である旨伝え、適用の有無について検討を依頼する。その際、制度の趣旨や概要についてわかりやすく説明する。

工事着手時の設計審査会の際に、監理技術者育成交代モデル工事の適用の有無について、副所長等から受注者へ確認する。

工事着手時の設計審査会後すみやかに、技術調査課施工体制・現場管理係に適用の有無についてメールにて報告する。

#### ⑥工事施工中（育成期間中）

監督職員は、育成技術者がトレーニングプログラムを履行しているか実施内容や実施状況について資料を提示させ確認する。

交代前の中間技術検査等において検査職員は、トレーニングプログラムの実施内容、実施状況について交代前後の技術者から説明を受けるものとする。

#### ⑦その他

育成技術者に交代する際に、主任（監理）技術者と同等の実績を求めないよう留意すること。

育成期間については、交代時期を踏まえ、主任（監理）技術者の交代に最低限必要な期間を設定するよう受注者において適切に検討するものとする。

トレーニングプログラムについては、育成技術者の個々の経験や能力に応じ受注者において策定するものとする。

交代時期については、受注者の意向を十分考慮して協議するものとし、交代時期の前に中間技術検査等が実施できるよう配慮するものとする。

入札説明書に監理技術者育成交代モデル工事（試行）について記載する。

・入札説明書の記載例

3. 工事の概要

（9）本発注工事は、以下に示す試行等の対象工事である。内容は、別表－2による。

○ 監理技術者育成交代モデル工事（試行）

～別表－2～

○ 監理技術者育成交代モデル工事（試行）

豊富な工事経験がある技術者が同種工事経験の無い技術者を育成することを目的とし、工事経験実績の促進及び主任（監理）技術者への交代が可能な試行工事である。詳細については特記仕様書によるものとする。

※○は説明書及び別紙－2に応じて末尾の番号を振り分けるものとする。

設計図書（特記仕様書）に「監理技術者育成交代モデル工事（試行）」を明記する。

・特記仕様書の記載例

第○条 監理技術者育成交代モデル工事（試行）について

1 本工事は、監理技術者育成交代モデル工事（試行）である。

（入札競争参加資格で求めた同種工事实績を持つ技術者を以下「主任（監理）技術者」という。交代予定の主任（監理）技術者以外の技術者を以下「育成技術者」という。）

2 受注者は以下により主任（監理）技術者を交代することができる。

① 交代の時期は、●●工（※1）において施工上一定の区切りとみなせる時期とし、発注者が開示した工事工程表（別紙－●）に示す時期を目安とするが、詳細な時期は監督職員と協議するものとする。

② 育成技術者は、主任（監理）技術者の専任期間において育成技術者として従事しており、交代までに1級土木施工管理技士及び監理技術者資格者証並びに監理技術者講習修了証の取得が確認できるものとする。

なお育成技術者は、本工事のみに従事することとする。

③ 受注者は、配置予定の育成技術者が、交代時点で配置予定の主任（監理）技術者と同等の技術力を習得するための措置として、育成期間におけるトレーニングプログラムを施工計画書に記載する。

受注者は育成プログラムの実施状況について監督職員から提示を求められた場合は、実施状況について説明し、資料を提示するものとする。

④ 交代前に●●検査（※2）を実施する。なお、実施する際には主任（監理）技術者と育成技術者が同席することとし、トレーニングプログラムの実施内容、実施状況について検査職員へ説明するものとする。

⑤ 受注者は、完成時のコリンズ登録において、当該モデル工事である旨、記載するものとする。

※1：資格要件で求めた同種工事の実績を含む主たる工種

※2：中間技術検査、既済部分検査又は完済部分検査

### 概略工事工程表

工事名：〇〇道路〇〇地区改良工事

工種	単位	数量	令和〇年度												令和〇年度				備考	
			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
準備	式	1	■	■																・40日間
道路土工	m3	50,000		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■							・路体盛土工(1pt) ・路床盛土工(1pt)
排水構造物工	m	2,500		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
舗装工	m2	25,000								■	■	■	■	■	■	■	■	■	・路盤工(1pt) ・舗装工(1pt)	
付属施設工	式	1														■	■	■	(1pt)	
区間線工	式	1															■	■	(1pt)	
後片付け	式	1																■	・20日間	
制約条件	関連工事(前工事)	—	■	■															・〇〇改良工事	
	関係機関協議	—	■	■															・〇〇県	
	住民合意	—																		
	用地確保	—																		
	法定手続き	—																		
	支障物件の移設	—		■	■	■	■												・下水道 ・〇〇電力 ・12月下旬～1月上旬 ・8月中旬	
	年末年始、お盆	—																		
	出水期間	—																		
	路上工事抑制	—																	・3月	
雨休率の適用	準備・後片付けを除く、雨休率(猛暑日補正有り※)を適用 ※補正していない場合は「猛暑日補正無し」と記載																			
監理技術者交代可能時期	<div style="text-align: center;"> <span style="margin-right: 100px;">←</span> <span style="margin-right: 50px;">←</span> <span style="margin-right: 50px;">←</span> <span style="margin-right: 50px;">←</span> <span style="margin-right: 50px;">←</span> <span style="margin-right: 50px;">←</span> <span style="margin-right: 50px;">←</span> <span style="margin-right: 50px;">←</span> <span style="margin-right: 50px;">←</span> <span style="margin-right: 50px;">←</span> <span style="margin-right: 50px;">←</span> <span style="margin-right: 50px;">←</span> <span style="margin-right: 50px;">←</span> <span style="margin-right: 50px;">←</span> <span style="margin-right: 50px;">←</span> <span style="margin-right: 50px;">←</span> <span style="margin-right: 50px;">←</span> <span style="margin-right: 50px;">←</span> <span style="margin-right: 50px;">←</span> <span style="margin-right: 50px;">←</span> </div>																			

準備と後片付けについては、工程上見込んでいる期間を明示する

全体工期を設定する上で、影響しない工種については、工程表に記載しなくても良いものとする

準備と後片付けについては、工程上見込んでいる期間を明示する

特記仕様書に記載のある、工程計画に影響のある制約条件については、全て記載する

※地域の実情や自然条件などを踏まえ適宜設定

## 完成時のコリンス登録例

工事实績データ(工事データ)	
公共事業の分野	道路
本件登録工事の受注に対応した建設業許可業種	土木一式工事
本件登録工事の入札参加資格区分	一般土木工事
工種、工法・型式	コンクリート構造物工事 橋梁下部工 コンクリート構造物工事 橋梁下部工 場所打杭等工事 場所打杭工 土留め・仮締切工事 土留め・仮締切工 土工事 掘削または切土工
工事概要	橋脚工(P16橋脚)1基 コンクリート 約680m <sup>3</sup> 鉄筋 約56t 場所打ち杭工(Φ2,000 L=19.5m)9本 土留、仮締切工、除去式アンカー、仮橋・仮棧橋工1式 橋台工(上り線側道A2橋台)1基(縦壁・胸壁)コンクリート 約220m <sup>3</sup> 鉄筋 約12t ※監理技術者育成交代モデル工事(試行)

工事实績データ(工事データ)の「工事概要」欄に「※監理技術者育成交代モデル工事(試行)」と記載する。(「工事概要」欄は500文字以内の文字制限があることに注意)

## 【目的】

豊富な工事経験のある技術者(以下、「主任(監理)技術者」という。)が、入札参加資格要件で求めた同種工事を施工中に、同種工事経験の無い技術者(以下、「育成技術者」という。)を指導・監督することで技術者の育成を図り、将来の担い手を確保するとともに、良好な品質の社会資本を持続的に社会に供給できる体制を確保する。

## 【概要】

主任(監理)技術者の専任期間において育成技術者を配置できるものとし、施工上一定の区切りとみなせる時期においては、育成技術者に交代することができる。

## 【対象工事】

「一般土木工事」「鋼橋上部工事」「プレストレスト・コンクリート工事」「舗装工事(アスファルト・コンクリート)」を対象  
(令和6年4月1日以降に公告する工事に適用。ただし、舗装工事(アスファルト・コンクリート)は令和8年4月1日以降に公告する工事に適用。)

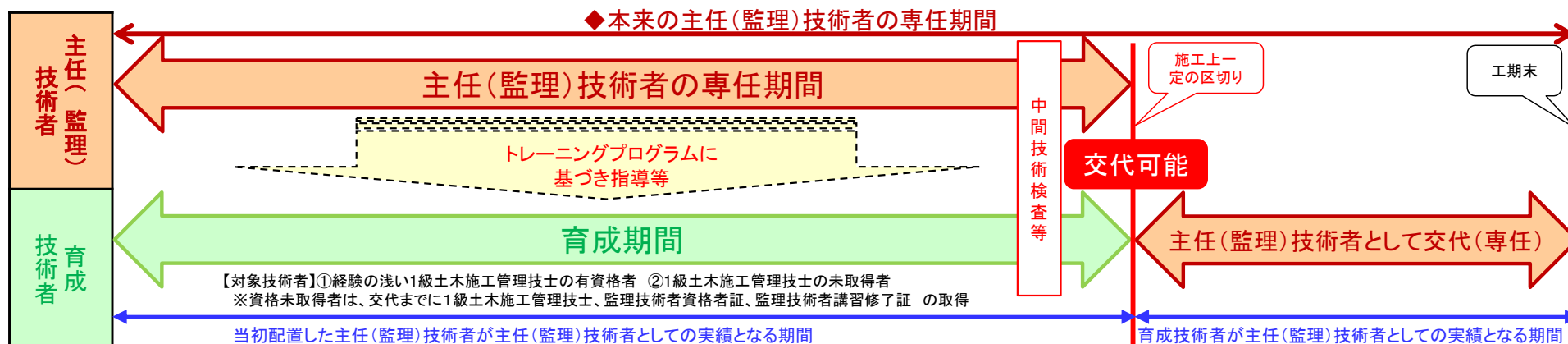
## 【対象技術者】

- ①経験の浅い1級土木施工管理技士の有資格者
- ②1級土木施工管理技士の未取得者

## 【技術者交代要件】(詳細時期は監督職員と協議して決定)

- ・主任(監理)技術者の専任期間において育成技術者として当該工事に従事(育成期間)。
- ・交代までに、1級土木施工管理技士及び監理技術者資格者証並びに監理技術者講習修了証の取得。
- ・技術力を習得するために育成期間におけるトレーニングプログラムを施工計画書に記載。
- ・交代する前に中間技術検査等を実施。

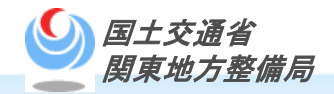
※監督職員は育成期間中に、検査官は中間技術検査時等にトレーニングプログラムの実施状況を確認。



※当初配置した主任(監理)技術者と育成技術者共に、主任(監理)技術者として従事した期間は、主任(監理)技術者としての実績となる。

# 「施工上の一定の区切り」の考え方

【参考資料3】



○育成技術者の交代時期は「施工上の一定の区切り」と見なせる時期とする。

資格要件で求めた同種工事の実績を含む主たる工種の施工が確認され、かつ、育成技術者が主任(監理)技術者に交代して適切に施工実績として評価されるよう、施工上の一定の区切りが工期の前半や後半となり過ぎないように十分留意する。

(例)

①交代時期  
:適切

②交代時期  
:不適切

項目	令和3年(2021年)度												令和4年(2022年)度												令和5年(2023年)度					所要月数	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		
準備工	準備工																								2.0						
仮設工	仮橋・仮栈橋工						栈橋工事																		3.0						
RC橋脚工																			施工上の一定の区切りが工期の後半となり過ぎないように留意												
P橋脚	鋼管矢板打設工													鋼管矢板打設						掘削～底盤						2.7					
	その他鋼管矢板基礎工																			躯体工事						2.5					
P橋脚	橋脚躯体工																									5.5					
	鋼管矢板打設工													鋼管矢板打設						掘削～底盤						2.7					
P橋脚	その他鋼管矢板基礎工																			躯体工事						2.5					
	橋脚躯体工																									5.5					
P橋脚	鋼管矢板打設工													鋼管矢板打設						掘削～底盤						2.7					
	その他鋼管矢板基礎工																			躯体工事						2.5					
P橋脚	橋脚躯体工																									5.5					
	鋼管矢板打設工																			鋼管矢板打設						2.7					
P橋脚	その他鋼管矢板基礎工																			掘削～底盤						2.5					
	橋脚躯体工																									5.5					
P橋脚	鋼管矢板打設工																			鋼管矢板打設						2.7					
	その他鋼管矢板基礎工																			掘削～底盤						2.5					
P橋脚	橋脚躯体工																									5.5					
	鋼管矢板打設工																									2.7					
P橋脚	その他鋼管矢板基礎工																			躯体工事						2.5					
	橋脚躯体工																									5.5					
後片付け																			躯体工事					0.6							
育成プログラム実施	育成プログラム実施期間																														

中間技術検査

中間技術検査

①: 資格要件で求めた同種工事の実績を含む主たる工種の施工が確認されたと判断

②: 交代技術者の従事期間が工期の終盤(橋脚が5基中4基施工済み)である